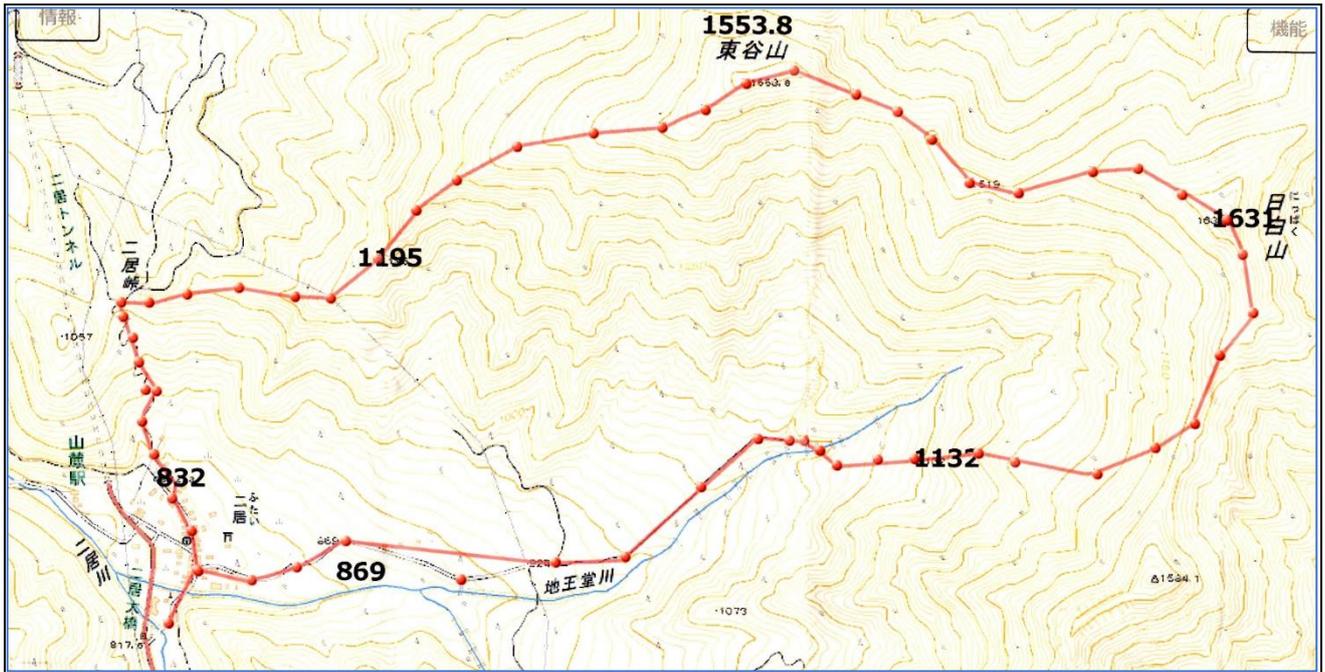


にっぽくさん
日白山 山行報告

- 【山域】 谷川連峰
【ルート】 二居登山駐車場→二居峠→東谷山→日白山→周回ルート→二居登山駐車場
【登山方法】 雪山登山
【日程・天気】 2019年4月6日（土）（日帰り） 晴れ
【参加者】 CL 鈴木憲二 鈴木愛子（記録）
【行程】



○4月6日（土）

千葉（自宅）3:00⇒関越道 湯沢 IC⇒^{ふたい}二居登山者駐車場 6:30 着 7:00 登山開始→二居峠 7:40→東谷山頂上 10:25→日白山頂上 12:00→周回コース→コルの下降点 12:50→地王堂川を渡る（雪で埋まっていた）→林道→二居登山者駐車場 15:00 着→日帰り温泉 宿場の湯で汗を流す→帰業 20:00 頃

○内容

早春の残雪山行を楽しみたいと思い、裏越後の日向倉山と谷川連峰の日白山のいずれかと思い、調べる。日向倉山は奥只見シルバーラインが朝6時からでないとは通行できないとの事で登山開始が遅くなるので、今回は日白山に行くことにした。昭文社の地図には登山道が載ってなくて、ヤブが濃くて積雪の時期

しか登れない山である。

4月7日の予定であったが、天候が6日の方が良いとの事で、日程を6日に変更した。



登山者駐車場の道路を挟んだ向こう側の「宿場の湯」



二居峠

旧三国街道二居登山口



ずーっと先まで続く雪庇

二居登山者駐車場に朝 6:30 に着く。そこは「日帰り温泉 宿場の湯」の道路を挟んだ向かい側で、10台位駐車できる。トイレと登山ポストはない。私達は自宅を出発する前に登山届を南魚沼警察署にファックスで提出した。ネットの情報によると、二居登山者駐車場が一杯の場合、苗場スキー場方面に500m位行った所に「二居パーキング」があり、そこはトイレがある由、そこを利用すると良いと思う。

私達が二居登山者駐車場に着いたら、すでに1台駐車していて、新潟の4人グループの人達で、私達より30

分位早く出発して行った。私達もピッケル、ワカンを持ち、7:00 登山開始。

「旧三国街道二居登山口」の標識のある所を登って行く。最初から雪道。でもアイゼン無しで歩ける。下山後、行った食堂のおかみさんによると、二日前に雪が降った由、トレースは私達より一足先に出発した4人グループの人達の足跡のみの様であった。

歩き始めて間もなくから雪が沢山あり、4人グループの人達のラッセル後を歩け、感謝しながら歩く。

40分歩き、二居峠に着く。そこから急坂を登り、平らな所で左側が樹林帯で、右側が開けていて、雪庇がず

ずーっと先々まで続いている所に出た。しばらく平らな所と緩やかな登りで、雪庇を踏み抜かないように樹林

帯の端を歩く。右側に平標山、後ろに苗場山等の美しい山々を眺めながら歩く。

雪庇の続く道が終わって、葉の落ちた広葉樹林帯を登っている時、晴れているのだが、風がとても強くなっ

てきて、ブリザードの様に雪煙が舞い、早く強い風が弱まらないかなと思いながら歩く。

そして緩やかな登りの雪原を歩き、10:25 東谷山の頂上に着く。標識は雪に埋まっているのか、もともと無いのか、GPSで頂上と分かった。360度の眺望。雪を回りの山よりひときわ沢山つけている真っ白な苗場山、妙高、火打、日白山、平標山、仙の倉山等々が見え、素晴らしい眺めであった。



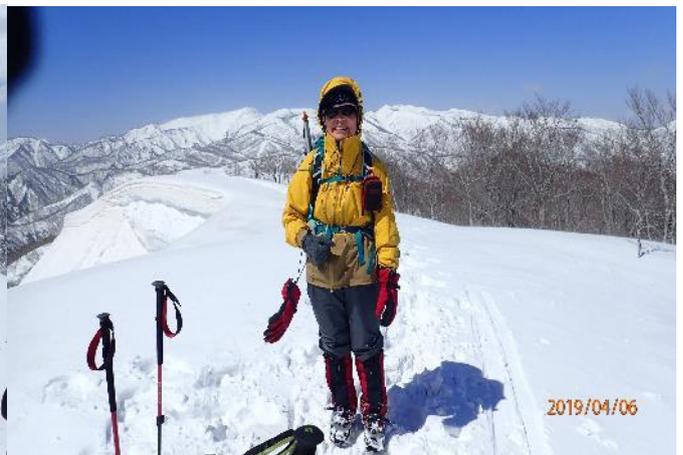
東谷山の手前の稜線からの苗場山



東谷山を目指しての雪原歩き

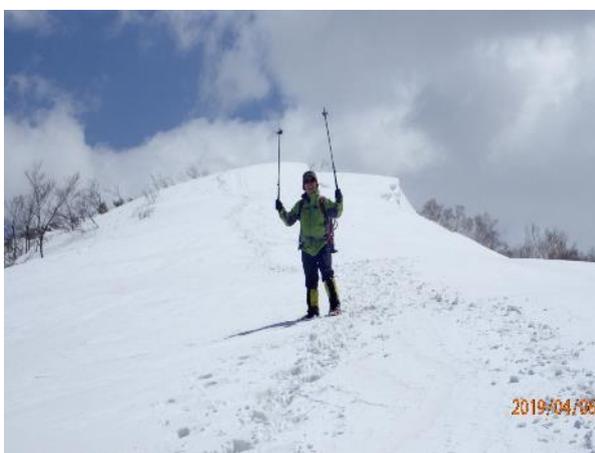


東谷山の頂上にて



東谷山の頂上にて

更に歩を進め、日白山を目指す。東谷山の頂上からの下りが、とても急なのでここでアイゼンをつけて下りる。一つピークを越し、日白山が大きく見えてきた時、東谷山で私達を追い抜いて行った二人の山スキーヤーが日白山からスキーでスイスイと楽しそうに滑り降りてきた。「いいですねえ！」と声をかけながら見送る。



日白山の手前の稜線



日白山の手前の稜線から見た平標山

だんだん日白山が大きく近づいてきた。目の前の日白山は雪を沢山まとい真っ白で、ピラミダルで、

女神

が住んでいるように、美しくたおやかに見えた。日白山頂上着 12:00。この頃になると、風も少し弱くなりほっ

とする。

山頂の雪面に、大きな亀裂が深さ1.5m位であり、春が近いのだなと思った。ここでも360度の大パノラマ。

平標山、仙の倉山、万太郎山、遠く越後三山、苗場山、谷川岳等々が見え、素晴らしい眺めに出会えて、しばし

幸せな気分になる。

夫も私も体調が良く、天気も良くて崩れそうになく、ピッケルもワカンも持っているし、という事で、予定で

は日白山からピストンで下山予定であったが、周回コースに変更する。

日白山からの下りは、雪が腐っていて足を出す度に20~30cm沈み、歩きづらかった。ワカンを履きたかったが、ネットの情報では、コルの下降点から先は、急傾斜なのでアイゼンを付けたまま歩く。そして下降点に12:50着。物凄い急坂。夫とピッケルを出そうかとも話し合ったが、先ず、ストックをしっかり雪面にさして、1歩1歩気をつけて下りてみよう、少し下りてみてピッケルを出した方が良かったら出そうという事で、歩を進める。1歩1歩慎重に下り、どうにか物凄い急坂をストックで降りることができた。



日伯山手前で見た日白山



日伯山の頂上にて



下降点から40分位歩いた地点から見た私達の歩いた稜

線

しばらく樹林帯を歩き、開けた所に着く。朝から歩いた長い稜線が見えた。我ながら、風が強く、雪が
沢山あ

る中でよく頑張ったなあと、それだけ歩けたことが嬉しくなる。

更に歩を進め、林道に着く。そこでアイゼンを外した。林道もまだ結構雪があった。そして二居登山者
駐車場着 15:00。登山終了。駐車場のすぐ向こう側の「宿場の湯」で汗を流し、帰路についた。

(宿場の湯の入浴料、600 円。JAF 割引きは 480 円)

○今回の山行を終えての感想

夫…出来たら来年、電車利用で、タカマタギ～日白山～東谷山～二居駐車場までテント山行してみたい
いなと思う。

私…夫が計画書を提出した時、古いものを使用し、池田（継）さんに「新しい計画書を使用してくだ
さい」と助言を頂きました。そのメールに、「昨年の2月に東谷山に初めて行き、とても良い所
で、これから毎年行くことに決めました」と書いてありました。本当に良い山で、池田さんがこ
れから毎年行きたくなる気持ちがよく分かりました。私もまた行きたくなる山と感じました。

ちば山の山スキー愛好家の方、雪山登山愛好家の方に是非お勧めしたい良い山だと思いました。
今回、出会ったパーティーは登山者2P、山スキーヤー2Pで、静かに残雪の山歩きをたっぷり楽
しめ、良かったと思いました。